

JOA 地域活性化委員会 活動計画（案）

I. 地域活性化委員会の目的と活動方針

(1) JOA 会員（各都道府県協会）の組織的活動の支援

- ①協会の活動の中核となる人と運営の支援。
- ②競技者登録者数の増加支援。
- ③協会の活動資金の獲得支援。

(2) JOA 会費免除の条件確認と決定

II. 支援内容

会員（各都道府県協会）の現状は5段階程度あると思われ、会員の意向に基づき適した支援をする。

段階	JOA 加盟	組織運営	競技者数と予算	競技・普及活動状況
0	非加盟	不在	競技者なし	活動なし
1	非加盟	不在	少数 or 隣接協会と合同	活動なし
2	加盟	個人負担	少数。JOA 会費困難	大会開催など組織的な活動困難
3	加盟	事務局	競技者登録費での JOA 会費維持に難	競技者数の増加活動、収益事業が困難
4	加盟	事務局	体協加盟は困難	大会開催可能。普及活動に難

支援内容（一例であって、各会員の実情と希望に沿う形の支援を行う）

(1) 競技者増加支援

①ふるさと登録促進支援

ふるさと登録を求めるパンフレットの作成。パンフレットへの支援協会連絡先の掲載  
インカレなどの各種大会での広報。各地区学連への広報。

②全日本リレー大会への合同チームの斡旋。

(2) 組織活動の支援

①活動の拠点となる地図（ホームテレイン）の作成支援。

②大会開催の人的支援（個人応援者の派遣。隣接県との連携支援。地区内合同開催支援）

③事務局活動の地域連携斡旋

(3) 収益事業の開催支援

①地図読み講習会、ロゲイン大会等の開催支援

②合宿の誘致支援、JOA 主催研修会の開催、

(4) 普及事業の実施支援

①地域の野外活動センターなど関係施設等との連携支援。

②定期大会の開催支援。子供向けプログラムの実施支援。

③地域の関連団体（ワンゲル部、山岳部、ランナークラブ等）への広報支援

(5) 競技力向上事業の実施支援

①各都道府県体育協会への加盟支援

(以上)

(解説)

地域活性化委員会の活動のねらい

基本は各都道府県協会の活動を支援することにあると考えています。具体的には以下の3項目が充実した状況になるよう支援することを目指します。

- ① 活動の核となる人材が存在し、組織として運営される。(事務局機能の充実)
- ② 財政基盤の充実。当面はJOA会費に苦勞しない状況にすること
- ③ 競技者登録者数が一定の水準に達すること。目安は全日本リレーヘチーム派遣できる状況。

もちろん、その上で、競技力向上や普及活動を行うことが最終目標と思いますが、当面は組織としての活動を安定させる人と予算の確保の支援を優先したいと考えます。

支援内容(案)の考え方

支援は、つまるところ、「人」と「お金」と考えます。今後の競技力向上や普及活動を進める上で社会的に認められる状況と財政の確保が課題と思われる。「社会的に認められる」とは様々なオリエンテーリング事業の実施において渉外活動が行え、また関連団体と連携できる状況です。

支援内容のイメージ

支援内容は、各都道府県とよく話し合いの上、状況に応じ柔軟な対応をしたいと思いますが、例えば以下のようなイメージをしています。<番号は前ページと同じです>

(1) ①ふるさと登録支援②全日本リレー大会合同チーム斡旋

主として学生OBの獲得を支援します。将来の活動の核となる人材はやはり、若い時に本格的にオリエンテーリングに取り組み、オリエンテーリングの醍醐味を知っている人が第一候補になると考えます。とはいえ、いきなり中核を担うということではなく、まずは、ふるさとを代表する全日本リレーへの参加という競技者としての参画が、この世代におけるもっとも強い動機付けになると考えます。

学生に呼びかけるパンフレットにふるさと登録時の連絡先を掲載し、各学連などで広報すると同時に、協会がない都道府県においては、まずはJOAが斡旋する形で参加を目指します。

(2) ①活動の拠点となる地図(ホームトレイン)の作成支援

各地域でオリエンテーリングの活動を行う上で、ホームトレインとなる質の高い地図が必要と考えます。近隣メンバーによる地図調査のほか、公認大会開催などによる整備が考えられます。整備後は、継続的な大会開催のほか、合宿の誘致、JOA研修会、地図読み講習会などの収益事業の拠点となりえます。全国の利用可能トレイン情報のとりまとめをJOAで行い広報していきます。

(2) ②大会開催の人的支援

①とも関係し、今後のトレイン活用、地図整備の観点からも、個人あるいは近隣地区からの大会開催支援を行うとともに、その後の地図、トレイン利用について一緒にプランを練ります。

全国的に大会ボランティアスタッフ、特にノウハウをもったスタッフが不足していると思われ、ふるさと登録者や地元出身者への呼びかけの他、大会ボランティア登録、JOAWebの専用ページ新設などで、人的資源の活性化を進めたいと思います。

## (2) ③事務局活動の地域連携斡旋

自立して事務局を維持できない場合は、地域内で連携しての運用、あるいは JOA で一部代行するなどの検討を行います。とはいえ、当面、多数の事務をこなすことは困難なため、イベントのエントリー受付、全日本リレーエントリーなどの必要最小限の支援になると思います。

## (3) 収益事業の開催支援

①地図読み講習会、ロゲイン大会等の開催支援②合宿の誘致支援、JOA 主催研修会の開催、ホームテレインの活用による県内開催の支援。講師やテキストなどのノウハウの提供、合宿ではコーチの派遣などを支援します。

また、県内開催が困難な場合は、地域内での合同開催などの斡旋検討を行います。

## (4) 普及事業の実施支援

野外活動センターや関連施設への JOA 名での働きかけ（渉外活動）、大会や講習会などの関係団体への JOA 名による広報活動（参加者募集）などを考えています。

## (5) 競技力向上事業の実施支援

### ①各都道府県体育協会への加盟支援

各都道府県の体育協会の状況の問い合わせや具体的な事務手続きのアドバイス。

関連事業の進め方についてのノウハウの支援。すでに体育協会に加盟している近隣会員からのアドバイスなどを検討します。

その他、この項目には明記していませんが、競技力向上として、全日本リレー参加や、それに向けた合宿、コーチの派遣なども競技力向上の一環となります。

(共通) これら活動の情報を一元的に提供するため、JOA-Web 内にページを新設します。

### 掲載内容

- ・ふるさと登録募集案内（支援会員）
- ・支援イベント（大会）のボランティア募集、参加者募集
- ・大会ボランティア登録（可能エリア、提供可能なノウハウ）
- ・全日本リレーの合同チーム斡旋

オリエンテーリングというマイナースポーツにおいては活性化が短期でできることはなく、中長期の視点をもって地道な取り組みが必要だと思います。どうゆう姿にしていきたいのか、一緒に考えながら進めさせていただければと思います。

文責 地域活性化委員会 新帯

2016年8月